

平成 29 年度 看護部研修計画

研修テーマ	研修のねらい	講師	募集	時間	回数
新規採用職員合同研修	神戸大学医学部附属病院の診療に携わる新規採用職員として必要な基礎知識を理解し、チーム医療の実践に活用する。		140	8	1
看護部採用時オリエンテーション			140	16	1
看護師のストレスマネジメント (睡眠衛生を含む)	ストレスマネジメントに必要な基本的知識を修得し、セルフケアに活用する。	精神看護専門看護師	105	2	2
危険予知	危険に対する気づきの能力を身につけ、日常の医療現場で活用する。	医療の質・安全管理部 看護師長	105	2	2
感染防止技術	感染防止のための基本的知識や個人防護用具の適切な使用方法を理解し、看護実践に活用する。				
個人研修 (eラーニング)	①スタンダードプリコーションの概念が理解できる。②感染経路別予防策が理解できる。③個人防護用具の着脱方法が理解できる。	-		*	1
集合研修	①正しい手指衛生ができる。②個人防護用具を正しく着脱できる。③設定事例に対して、適切な感染防止対策を選択できる。	感染管理認定看護師	110	2	4
部署研修	【年度末までに】①スタンダードプリコーションが実施できる。②「院内感染予防マニュアル」を活用し、指導のもと感染経路別予防策の計画・立案・実施できる。	各部署の担当者		-	-
リフレクション	看護職にとってのリフレクションの概念・意義・方法について理解し、より良い実践に向けて実践から学ぶ学習ツールとして活用する。				
個人研修 (eラーニング)	①リフレクションの概念が理解できる。②リフレクションの意義が理解できる。③リフレクティブサイクルが理解できる。	-		*	1
集合研修：リフレクション 1	①リフレクションの方法・留意点が理解できる。②演習を通してリフレクションのプロセスを学ぶ。③自分にとってのリフレクションの意義を述べることができる。④リフレクションを通して実践を振り返り、気づきを得ることができる。	神戸大学大学院保健学研究科 教員、 スーパー教育指導者、教育専従 副看護師長	110	4	2
集合研修：リフレクション 2				4	2
部署研修： リフレクショントレーニング 1 リフレクショントレーニング 2	①看護実践を振り返り、うまくいったことやうまくいかなかったことの要因が明らかになる。②看護実践を振り返り、自己の課題が明らかになる。③看護実践を振り返り、より良い看護実践に向けた具体的な方策を考えることができる。	各部署の教育指導者			1 1
摂食・嚥下と口腔ケア	①摂食・嚥下のメカニズムを理解し、看護実践に活用する。②口腔ケアの必要性とその方法について理解し、看護実践に活用する。	摂食・嚥下障害看護認定看護師	105	2	2
技術研修：採血	採血を安全に行うための知識・技術を習得し、看護実践に活用する				
個人研修 (eラーニング)	①採血の目的が理解できる。②採血の手順（準備・実施・後片付け）が理解できる。③採血時の注意点（患者/医療者の安全）が理解できる。④各安全機材の特徴が理解できる。⑤安全器材を使用する必要性と使用方法が理解できる。	-		*	1
集合研修	①採血の必要性が説明できる。②設定事例の患者に対して、患者に合わせた適切な器具の選択ができる。③設定事例の患者に対して、採血する部位を選択できる。④設定事例の患者に対して、一連の手順に従って採血が実施できる。⑤安全器材のしくみを理解し、正しく取り扱うことができる。	感染管理認定看護師、看護実践・教育開発センター員	105	4	4
部署研修	【年度末までに】①採血項目の目的と検査時の注意事項（絶食、安静等）について述べることができる。②採血の必要性について患者に説明できる。③患者に合わせた適切な器具の選択ができる。④採血に適した血管の選択ができる。⑤患者・医療者の安全に配慮することができる。	各部署の担当者		-	-
看護過程	看護過程の知識やスキルを学び、看護実践に活用する				
個人研修 (eラーニング)	①ゴードンの「11の機能的健康パターン」が理解できる。②看護過程の基本的な知識を再確認する。③現場における看護過程の展開方法について知る。	-		*	1
集合研修	eラーニングで学んだ知識を用いて、模擬事例において情報収集～計画立案を行う。（体験的に理解する。）	副看護師長（現任教育委員）	105	4	2
部署研修	【年度末までに】看護過程の展開についての知識やスキルを実践現場で応用する。	各部署の担当者		-	-
フィジカルアセスメント (ハートック)	フィジカルアセスメント（身体的評価）について理解し、看護実践に活用する。				
個人研修 (eラーニング)	①フィジカルアセスメントの意義が理解できる ②症状アセスメントの方法が理解できる。	-		*	1
集合研修	（事例患者に対して）①学んだ知識を用い、診察ができる。②学んだ知識を用い、患者状態が総合的に判断できる。③アセスメントの結果に基づき、次への行動を考えることができる。	急性・重症患者看護専門看護師	105	4	4
部署研修	【年度末までに】①学んだ知識と技術を活用し、受け持ち患者の症状や徴候から、適切な方法で情報収集ができる。②収集した情報をもとに、患者の状態を総合的に判断できる。③アセスメントの結果に基づき、次への行動を考え、実践できる。	各部署の担当者		-	-
技術研修：輸液ポンプ	輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい使用方法を理解し、看護実践に活用する。				
個人研修 (eラーニング)	①輸液ポンプ・シリンジポンプの構造・手順・留意点が理解できる ②eラーニングを見ながら、設定された手順に従って輸液ルートをセットアップできる	-		*	1
集合研修	①設定された手順に従って輸液ポンプ・シリンジポンプのセットアップができる。②設定事例を通して、輸液ポンプ・シリンジポンプを使用している患者の管理（適切なポンプの使用、観察、日常生活の留意点の説明）ができる。③演習で、トラブル発生時（閉塞時、気泡時）の対処ができる。	臨床工学技士 看護実践・教育開発センター 看護師長	105	4	4
部署研修	【年度末までに】①輸液ポンプ・シリンジポンプを使用している患者の基本的な看護（適切なポンプの使用、観察、日常生活の留意点の説明）ができる。②トラブル発生時（閉塞時、気泡時）の対処ができる。	各部署の担当者		-	-
対人コミュニケーション (ハートック)	①コミュニケーションの基本的技術を習得し、看護実践に活用する。②自己の傾向を踏まえた効果的なコミュニケーションを見出す。	看護実践・教育開発センター 副看護師長	105	4	2
スキンケア (ハートック)	スキンケアの基礎を学び、スキントラブルの予防に活用する。	皮膚排泄ケア認定看護師	105	1	1
薬剤の基礎知識	基本的な薬剤の知識を理解し、看護実践に活用する。	薬剤部	105	1	1
看護における倫理	看護実践における倫理的問題を検討することで倫理的感受性を高め、看護実践に活用する。	臨床倫理・検討コンサルテーションメンバー	105	4	2
多重課題のマネジメント	多重課題事例をもとに臨床におけるマネジメントについて学び、看護実践に活用する。	看護実践・教育開発センター員	105	4	2
看護とは	看護実践の振り返りや他者との看護の共有により、自己の看護観、目指す看護を明確にする。	副看護師長（現任教育委員）	105	4	1
糖尿病の薬物治療	インスリン製剤および経口血糖降下剤の種類、特徴を理解し、看護実践に活用する。	糖尿病看護認定看護師	105	1	1
移動・移送	ボディメカニクスを活用し移動・移送を安全・安楽に実践できる技術を身につけ、看護実践に活用する。				
個人研修 (eラーニング)	①援助のポイント・ボディメカニクスが理解できる。②援助前の事前準備が理解できる。③ボディメカニクスを活用した上方移動、起き上がり、車椅子移乗の一般的な方法が理解できる。④移動・移送に関する注意事項がわかる。（点滴ルート、ドレーンへの配慮、患者状態の観察、残存機能の活用）	-	105	*	1
部署研修	【年度末までに】受け持ち患者を通して、①援助のポイント・ボディメカニクス・患者の状態に応じた注意点をふまえ、安全・安楽にベッド上における上方移動ができる。②援助のポイント・ボディメカニクス・患者の状態に応じた注意点をふまえ、安全・安楽に起き上がりができる。③援助のポイント・ボディメカニクス・患者の状態に応じた注意点をふまえ、安全・安楽に車椅子への移乗・移送ができる。	各部署の担当者		-	-

新人看護職員対象研修

	研修テーマ	研修のねらい	講師	募集	時間	回数
リーダー対象研修	災害看護	災害看護について理解し、災害時における自身の役割を見出す。	救急看護認定看護師	60	1	1
	対人コミュニケーション（アドバンス）	患者が自身の健康増進に向けて主体的に取り組むことができるよう支援するために、治療的コミュニケーションについて理解し、看護実践に活用する。	専門看護師（5名）	80	4	2
	チーム医療	チーム医療について必要な知識を修得し、実践に活用する。	院内講師	60	1	1
	メンバーシップ	チームメンバーとしての自身の役割や責任を自覚し、チームの目標達成に向けてメンバーシップを発揮する。	看護師長	80	1	1
	リーダー育成	リーダーシップ、リーダーの役割について理解し、看護チームに適用する。	看護師長	80	4	2
	成人教育 ●院内外公開	成人教育について基本的な知識を修得し、部署での教育に活用する。	院外講師	100	4	1
	職場におけるストレスマネジメント	看護師の仕事におけるストレスの特徴、ストレス対処の方法について理解し、ストレスマネジメントに活用する。	精神看護専門看護師	60	1	1
	スキンケア（アドバンス）	褥瘡ケアの知識を深め、褥瘡の予防から治療ケアを理解し、看護実践に活用する。	皮膚排泄ケア認定看護師	70	1	1
	フィジカルアセスメント（アドバンス）	フィジカルアセスメントを活用し、患者の重症化に対応する。	急性・重症患者看護専門看護師	40	4	2
リーダー対象研修	倫理的意思決定の支援	倫理的意思決定の方法について理解し事例検討することで、日々の看護実践の場面で生じる倫理的問題に対して系統的に考え、問題の解決に活用する。	がん看護専門看護師	40	4	1
	家族看護（ハートック）	家族看護に関する基本的な知識を得て、家族看護の理解を深めることで、家族看護の実践の意味を見出す。	家族支援専門看護師	40	1	1
	リーダーフォローアップ	リーダーシップについて再考し、部署でのリーダーシップの発揮に活用する。	看護師長	60	4	1
	論理的思考 ●院内外公開予定	論理的な考え方を身に付け、日々の実践に活用する。	院外講師	80	4	1
	中堅看護師のためのキャリア教育	キャリアについて理解し、自己のキャリア・デザインを描くことに活用する	副看護師長	60	1	1
	コーチングスキル	自分や相手の能力を引き出すコーチングスキルを理解する。	教育担当副看護部長	60	1	1
	マネジメント「リーダーのための組織論」	所属組織（看護部・部署）について理解を深め、組織における自身の役割を見出す。	看護部長・副病院長	100	1	1
リーダー対象研修	コンフリクトマネジメント	コンフリクトマネジメントについて理解し、現場の問題解決に活用する。	副看護部長	40	1	1
	倫理的課題の検討	倫理カンファレンスにおけるリーダーシップについて理解し、日々の倫理的課題の検討において活用する。	専門看護師	40	1	1
	家族看護（アドバンス）	家族アセスメント、家族支援の方法について理解し、看護実践に活用する。	家族支援専門看護師	60	1	1

	研修テーマ	研修のねらい	対象	募集	募集	時間	回数
看護管理研修	Mラダー未取得者対象：看護サービス管理	看護サービスの基本的概念と顧客満足について学ぶ。	ジェネラリストラダーV取得看護師	教育担当副看護部長		1	1
	Mラダー未取得者対象：目標管理	目標管理を活用した組織マネジメントを学ぶ。	及びMラダー未取得副看護師長	質管理担当副看護部長		1	1
	MラダーI対象：管理者に必要なセルフコントロール	管理者として自らの価値観・感情・長所・短所が他者へどのように影響するかを理解する。	MラダーI取得者	精神看護専門看護師		1	1
	MラダーII対象：看護管理者のための問題解決法	問題の本質を捉えるための概念化の手法を学び、管理実践に活用する。	MラダーII取得者	看護部長・副病院長		1	1
	MラダーIII対象：医療政策の動向	医療政策の動向について理解し、自部署の看護サービスの改善のための方策を見出す。	MラダーIII取得者	院外講師		1	1
	MラダーIIIIV対象（ヒック）		MラダーIIIまたはIV取得者	院外講師		1	1

	研修テーマ	研修のねらい	対象	募集	募集	時間	回数
教育指導者養成コース	オリエンテーション	①教育指導キャリアパスについて理解し、教育指導者を目指す者として今後の方向性について考える。②自身の課題に対し、本コースを通してどのような学びを得るかを考える。	コース対象者	看護実践教育開発センター員	23	1	1
	リフレクションの理解とファシリテーション1	リフレクションを支援するファシリテーターとしての関わりについて学び、今後の教育に活用する。	コース対象者	神戸大学保健学研究科教員、スーパー教育指導者	23	4	1
	リフレクションの理解とファシリテーション2				23	4	1
	倫理（教育） ●院内外に公開	教育場面における倫理的問題を検討する方法を理解し、教育実践に活用する。	コース対象者	院外講師	23	4	1
	教育学 ●院内外に公開	成人教育について学び、成人教育に関する知識を得ることで今後の教育的関わりに活用する。	コース対象者	院外講師	23	4	1
	看護学教育論・看護継続教育論 ●院内外に公開	臨床現場における教育の状況を踏まえながら、看護における教育の捉え方・支援方法を理解し、部署教育に活かす。	コース対象者	院外講師	23	4	1
	教育とは	教育指導者としての態度を養う。	コース対象者	現任教育委員、教育担当副看護部長	23	4	1
	研修の組み立て方①	①教育計画立案の方法を理解し、部署における教育の企画に活用する。②さまざまな教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）を理解し、教育実践に活用する。	コース対象者	院外講師	23	8	1
	研修の組み立て方②			看護実践・教育開発センター員	23	4	1
部署の教育における現状と課題	部署の教育における現状を把握し、課題解決の糸口を見出す思考を身につけ、教育実践に活用する。	コース対象者	看護実践・教育開発センター員	23	4	1	

	研修テーマ	研修のねらい	対象	募集	募集	時間	回数
教育指導者フォローアップコース	リフレクション スキルアップトレーニング	リフレクションのスキルを習得し、自身の実践および他者の教育に活用する。					
	第1クール		教育指導者のうち新任者●名	スーパー教育指導者、看護実践・教育開発センター員	6	1	3
	第2クール				6	1	3
	第3クール				6	1	3
	第4クール				6	1	3
	教育指導者養成コースフォローアップ	教育指導者養成コースの学びを実践にどう活用したかを振り返り、教育実践に活用する。	教育指導者のうち新任者を除く	現任教育委員	25	4	1
リフレクション指導方法 -RFの理解からファシリテートに向けて-	リフレクションを支援するファシリテーターとしての関わりについて学び、教育実践に活用する。	教育指導者のうち新任者●名	スーパー教育指導者、教育担当副看護部長	24	4	1	

	研修テーマ	研修のねらい	対象	募集	募集	時間	回数
スーパー教育指導者養成コース	オリエンテーション	組織における「スーパー教育指導者」の位置づけ、「スーパー教育指導者養成コース」の概要を理解し、自身の教育活動や学習活動について考える。	コース対象者	教育担当副看護部長、教育担当看護師長	未定	1	1
	教育におけるマネジメント	看護部の教育システムと教育活動におけるマネジメントの視点について理解し、教育活動に活用する。	コース対象者、副看護部長	教育担当副看護部長、看護師長	50	1	1
	ファシリテーション	ファシリテーションについて理解し、教育実践に活用する。	コース対象者、副看護部長	教育担当副看護部長	50	1	1
	コンサルテーション	コンサルテーション活動に必要な基本的知識を理解する。	コース対象者、副看護部長	がん看護専門看護師	50	1	1
	メンタルヘルスケア	メンタルヘルスケアの基本的な考え方を理解し、自身の役割について考える。	コース対象者、副看護部長、看護師長	院外講師	80	4	1
	看護基礎教育の現状と課題 ●院内外に公開	看護基礎教育の現状を理解し、学生実習指導および新人看護師教育に活用する。	コース対象者、副看護部長、臨地講師	神戸大学大学院保健学研究科教員	50	1	1
	リフレクション	学習者の課題にあわせた指導の組み立て、リフレクションを促すフィードバックの方法を学び、教育実践に活用する。	コース対象者	スーパー教育指導者、看護実践・教育開発センター員	未定	2	2

	研修テーマ	研修のねらい	対象	募集	募集	時間	回数
全体研修	看護部長講話	病院や看護部の方針を理解するとともに、大学病院の看護師として、組織及び地域への貢献について再考する。	看護職員	看護部長・副病院長	300	1	1
	学会発表報告会 ●院外公開	研究発表の聴講を通して、研究や最新の知見を共有し、看護研究や看護実践に活用する。	看護職員	教育講演：院外講師	130	4	1
	退院支援 - ジェネラリストが繋ぐ外来・病棟・地域 -	退院支援の概要について理解し、退院支援における自身の役割を見出す。	全看護師	患者支援センタースタッフ	60	1	1
認定看護師・専門看護師主催研修	急変時対応シミュレーション	急変対応時の看護師の役割について理解する。発見から5分に必要ファーストエイドが実践できる。	ラダーⅠ看護師	救急看護認定看護師	10×2	1	2
	慢性呼吸器疾患患者の退院支援	慢性呼吸器疾患患者の退院までのプロセスと看護実践について学び、「在宅ケアをイメージする力」を養う。	慢性器疾患患者の退院支援に携わる外来・病棟看護師	慢性呼吸器疾患看護認定看護師	20	1	1
	インスリン注射と糖尿病のお薬について	インスリン注射や糖尿病のお薬について、その特徴や使用上の注意点、服薬指導のポイントについて理解できる。	ラダーⅠ及びラダーⅡ看護師	糖尿病看護	20	1	1
	ELNEC-J ●神戸大学 地域がん診療連携拠点病院強化事業 院外に公開			がん性疼痛看護認定看護師			
	抗がん剤の安全な取り扱い - 曝露対策への理解を深めよう -	抗がん剤に対する曝露対策の必要性を理解し、抗がん剤の安全な取り扱いができる。	全看護師（主に新人、異動者）	がん化学療法看護 認定看護師	40×2	1	1
	がん看護研修ベーシックコース ●神戸大学病院 地域がん診療連携拠点病院実行委員会・看護部会 主催研修	がん患者、及び、家族がおかれている状況を理解し、治療を受ける患者・家族への看護の基礎知識、及び、緩和ケアの基礎知識を理解し、根拠にもとづいた看護が展開できる。					
	総論 1（必修）	がんに関連した医学的知識、保健医療の動向、がん看護の基盤となる考え方を理解し、がん看護を実践する看護師としての資質を身につける。	ラダーⅡレベル以上の看護師	腫瘍・血液内科医師	30	1	1
	総論 2（必修）			がん看護専門看護師	30	1	1
	総論 3（必修）				30	1	1
	がん化学療法看護コース 1（選択）	化学療法を受けるがん患者の特性を理解し、患者の看護実践に必要な援助を提供できる能力を身につける。	・「総論 1,2,3」受講者のうちの希望者 ・昨年度までの「がん看護研修ベーシックコース」参加者のうちの希望者	がん化学療法看護認定看護師	30	1	1
	がん化学療法看護コース 2（選択）				30	1	1
	がん化学療法看護コース 3（選択）				30	1	1
	がん放射線療法看護コース 1（選択）	放射線療法を受けるがん患者の特性を理解し、患者の看護実践に必要な援助を提供できる能力を身につける。	・「総論 1,2,3」受講者のうちの希望者 ・昨年度までの「がん看護研修ベーシックコース」参加者のうちの希望者	がん放射線看護認定看護師、乳がん看護認定看護師	30	1	1
	がん放射線療法看護コース 2（選択）			放射線腫瘍科医師	30	1	1
	緩和ケアコース 1（選択）	がん患者にとって緩和ケアの重要性を理解し、患者の看護実践に必要な援助を提供できる能力を身につける。	・「総論 1,2,3」受講者のうちの希望者 ・昨年度までの「がん看護研修ベーシックコース」参加者のうちの希望者	がん性疼痛看護認定看護師	30	1	1
	緩和ケアコース 2（選択）				30	1	1
	緩和ケアコース 3（選択）			がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師	30	1	1
	がん看護研修アドバンスコース ●神戸大学病院 地域がん診療連携拠点病院実行委員会・看護部会 主催研修	がん患者および家族の QOL 向上を目指した主体的な療養生活を支援するための知識を習得し、個別性を重視した看護の考え方が分かる。また、必要に応じてリソースを有効に活用し、役割モデル※となる。（※役割モデルとは、①がん患者のケアに関するカンファレンスの企画・運営、②多職種・他部門との調整・連携、③必要なリソースを判断し、コンサルテーションができる、④緩和ケア・退院支援リンクナース、⑤がん関連研修会（アドバンスコース・サポートプログラム等）のファシリテーター）					
	がんサバイバースhip①-1	がんサバイバースhipの考え方に基づき、がんとともに生きる人への看護の考え方ができる。苦痛や苦悩をもつ患者や家族に全人的な視点から包括的にアセスメントができる。			15	1	1
	がんサバイバースhip①-2				15	1	1
がん看護における意思決定支援 1	多様な価値観を持つ患者と家族に対して、専門職として倫理的な姿勢をもち、患者・家族の意向を尊重した看護の考え方ができる。	昨年度までの「がん看護研修ベーシックコース」受講者のうち、ラダーⅣレベル以上でがん患者さんへの看護経験が2年以上ある看護師または、ラダーⅢレベル以上でがん患者さんへの看護経験が3年以上ある看護師	がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、がん放射線看護認定看護師	15	1	1	
がん看護における意思決定支援 2				15	1	1	
がん看護実践におけるチームアプローチ 1	がん看護実践におけるチーム医療に必要なスキルを学び、チームでのアプローチの実際を考える事ができる。			15	1	1	
がん看護実践におけるチームアプローチ 2				15	1	1	
がんサバイバースhip②	がん看護における自らの看護実践に対して振り返ることができ、がんサバイバースhipについての考え方を深められる。			15	1	1	
皮膚排泄ケア認定看護師主催研修			皮膚排泄ケア認定看護師				
看護補助者研修	未定		看護補助者（業務担当、事務担当）	未定			
	未定		看護補助者（業務担当、事務担当）	未定			